

# 下越の国有林における取組

—令和3年度—

下越森林管理署



## ■丸太採材技術等現地検討会

阿賀野市折居の国有林において、新潟県内の森林・林業関係者が集まり丸太採材技術等の検討会を開催

新潟県内の各森林管理(支)署は、国有林で実施している一貫作業システムや生産性向上の取組等について、民有林関係者に広く技術の普及をするため、平成29年度から現地検討会等を実施しているところです。

今年度、下越森林管理署では、伐採した立木を優位な価格等の丸太に採材する方法等を検討してもらうことを目的に開催しました。



### 現地検討会の実施 令和3年11月12日



# ■スギ素材（通直なもの1本、曲がりがあるもの3本）を採材検討

当日は、悪天候の中、新潟県5名、新発田市1名、林業関係者11名、関係団体1名、関東森林管理局関係17名の計35名（18団体）の方々が参加しました。

なお、当初予定していたUAV（ドローン）の操作体験は、悪天候のため中止しました。

今回の検討会では、国、事業者、製材業者の3者にそれぞれ採材してもらい、採材にどのような違いが出て、どのような結果が現れるか意見交換を行いました。



- スギ素材は、通直なものを1本、曲がりがあるものを3本用意
  - 採材者は、国、事業者、製材所の3団体によりそれぞれ採材方法を検討
  - 素材の見方の違いでそれぞれ採材の違いの検討
- なお、素材の欠点は、曲がりのみを重視



【写真 スギ素材4本】



【写真 直通1本】



【写真 曲がり3本】



【写真 採材検討の様子】

## ■3者の採材結果、製材業者が全体的に高価な採材となりました。

## ■今回の現地検討会で得られた有利な採材方法を普及させるため、今後も、機会を捉えては、採材検討会を開催する予定です。

### 【参考資料】

**有利採材を徹底しよう！**  
— 立木の価値を上げる採材の徹底 —

**◎採材の基本（採材方法の決定）**  
A材 → 良材 → C材 の順で採材、安直にB材を採らない。  
特にお願いしたいこととは！

- ①B材（B材）は、B材の良材と見做す。
- ②B材（B材）は、B材の良材と見做す。
- ③B材（B材）は、B材の良材と見做す。

**◎採材によってどのくらい価値が変動するの（採材方針）？**

採材方針	良材率 (%)	B材率 (%)	C材率 (%)	立木価値 (円)
良材優先	80	10	10	10000
B材優先	70	20	10	12000
C材優先	60	30	10	14000

**採材に当たっての最小受入材木口径は、**

① 直径10cm以上、樹幹に腐朽の発生しないもの。

② 直径10cm以上、樹幹に腐朽の発生しないもの。

**◎採材、仕分けの工夫をされていますか？**

① 直径10cm以上、樹幹に腐朽の発生しないもの。

② 直径10cm以上、樹幹に腐朽の発生しないもの。

**◎業者（製材工場）は、何をどう使用するの？**

A材 → 建築用材  
B材 → 建築用材  
C材 → 建築用材

**◎樹幹の直径変動係数（変動）**

樹幹の直径変動係数とは、樹幹の直径が平均直径からどれだけ変動しているかを表す指標です。

直径変動係数 (%)	直径変動係数 (%)	直径変動係数 (%)	直径変動係数 (%)
0.5	1.0	1.5	2.0

**◎樹幹の直径変動係数（変動）**

直径変動係数 (%) = (最大直径 - 最小直径) / 平均直径 × 100

直径変動係数 (%) = (最大直径 - 最小直径) / 平均直径 × 100